



広報

Nakadomari PR Magazine

なかどまり

11月

NOV 2011 No.80

特集1

地域とともにある学校

中里高校のいま



特集2

なかどまり町民祭

まちの
話 題

シルバーの日清掃奉仕活動
88歳夫婦を顕彰
下前でウォーキング

お知らせ

子ども手当の申請
特設合同相談所開設
母子・寡婦福祉資金貸付

中里高校の学校活動は、どこの学校でも行われる文化祭や運動会などのほか、生徒は就職希望者が多いため、インターンシップや就職講習など、生徒の実情にあった教育活動が行われている。

特に就職講習は、今年から行われている新しい試みで、企業の就職試験に必要な基本的かつ実践的な知識を効果的に教えるものとして、同校でも就職率アップに期待を寄せている。

川口教頭が強調していたのは「行動しなければ、力はない」ということ。まず行動する、という姿勢が見える。

主な学校行事

- | | |
|-----------|----------|
| ・遠足 | ・全校ガイダンス |
| ・文化祭 | ・ワークショップ |
| ・運動会 | ・進路見学会 |
| ・スポレク大会 | ・交通安全教室 |
| ・中学校体験入学 | ・防災訓練 |
| ・インターンシップ | ・講演会 など |



【インターンシップ(8月30日～9月1日)】

生徒の職業観を養うインターンシップ。地域のさまざまな事業所に行き、働くことの大切さを学ぶ実習の場だ。



【文化祭(7月16日)】

年1回行われる文化祭は、男装・女装、コーラ早飲み、カラオケなど多彩な企画がある。生徒会が中心となって企画し、生徒たちが自分たちの手で作り上げる恒例イベントだ。



【サッカー部】

部活動



【音楽同好会】



【進路講話(5月25日)】

全校生徒に対し行っている進路講話。生徒の進路実現のため、仕事に対する実践的な知識を学ぶために行っている。この日は、ジョブカフェあおもりから指導を受けた。

学校活動

School Activities

【特集】

地域とともにある学校

中里高校のいま



青森県立中里高等学校は、この地域にも高校をという住民の強い願いから、昭和51年に設立。当時、この地域は高校進学者が少ない状態で、中里高校の開校によって、進学率の向上に大きく寄与し、この地域にも高等教育の恩恵を与えた。輩出した卒業生は3,297人(平成22年度末)を数え、進学や就職など多方面で活躍している。

「創意、調和、貢献」を校訓に掲げる中里高校。中里地域のみならず、小泊地域や五所川原市市浦、つがる市車力などからも入学している、この地域にはなくてはならない高校だ。この地域にとって、そして町にとって大切な学校「中里高校」の今の姿を取材した。

開校を迎えた中里高校

143人の入学生を迎え、盛大に行われた中里高校の開校式・入学式と、創立落成記念式典の様子。新しい学校が開校するという、地域の念願が結実した瞬間だ。

当時の広報がとらえた写真からは、1期生のりりしい姿や、保護者・関係者の緊張した面持ちと、これから歴史を刻む新しい学校への希望が伝わってくる。



中里高校の主な地域活動

- ・ホタルまつりのバスガイド
- ・全校奉仕活動
- ・夕涼み会ボランティア
- ・公開講座
- ・なかどまりまつり参加
- ・高校生まちづくり塾参加

など

参加している生徒たちの表情は、真剣で明るい。地域と関わることは、自分たちの将来にプラスになることを、十分理解しているようだ。学校という若者だけのコミュニティの中では味わえない、社会ならではの緊張感や面白さを体感している。

宮本校長は「地域に出す」ことが、生徒たちにいい影響を与えると話す。地域には多様な人間がいて、違った価値観同士の人間が仕事をし、交流を持ち、関わり合いながら生きている。それらを体験することが、彼らの将来のためになるというのだ。

実際に活動に参加した生徒も、地域活動への参加で、物の見方、自身の能力向上に手ごたえを感じているようだ。

この活動は、単に学業・生活といった枠にあてはまらない、生徒が歩む人生を念頭に置いた活動とを感じる。宮本校長が「生徒たちの希望進路実現が一番」という経営方針の現れであろう。



【高校生まちづくり塾】

若者の視点からまちづくりを考えようと、地域づくり団体「起きて夢見る会」が中心になって行っている塾。体験を通じて、生徒たちは町の資源を学んでいく。

【夕涼み会】

高齢者生活福祉センターが行う夏まつりのボランティア。出店や高齢者とのふれあいなどの活動を行っている。



【全校奉仕活動】

全校生徒が、一斉に町内に繰り出し、さまざまな奉仕を行う活動。今年は、運動公園の側溝清掃、国道のごみ拾い、静和園での介助手伝いを行い、地域の人たちからも評価を受けている。

地域に根ざす活動

School on Community



【ホタルまつりinなかどまり】

ホタルの里までのシャトルバス内で、資料片手にホタル観賞客への説明を行う生徒たち。彼女たちのがんばりに、乗客は大きな拍手を送っていた。



【公開講座】

地域の人たちとの連携や、健康増進を目的に開かれている講座。地域の人たちが、先生や生徒と一緒にバドミントンを楽しみ、交流を深めている。

中でも、ホタルまつりのバスガイドや、高齢者生活福祉センターが行っている「夕涼み会」のお手伝い、まちづくり塾での体験や発表などは、周りの大人たちや社会から高い評価を受けている。

ここでも、川口教頭がいう「行動しなければ、力につかない」という姿勢が現れていた。



【なかどまりまつり参加】

町の夏祭りにも参加。無形民俗文化財に指定されている「なにもささ流し踊り」の隊列に加わり、中央公民館からパルナスまでの道のりを練り歩いた。



宮本芳夫校長インタビュー

―校長に赴任して感じたこととは？
創立から36年たつてはいるが、校舎はきれいだし、施設も充実している。すばらしい学習環境だと感じた。生徒数は全盛期に比べて3分の1になっているので、もう少し生徒数が多ければ部活動などが活発にでき、学校がさらに活性化されるのでは、と思っている。
―生徒たちの印象はどうですか？
総じて問題などが少なく、生徒たちは、落ち着いて学校生活を送っている。ただ、生徒数が少ない、小規模校

―ということがあるのかもしれないが、もうちょっと元気があってもいいのかなと思う。また、将来に対する目的意識をしつかり持つてもらいたい。逆に小規模校のメリットを生かして、きめ細かく指導できるのが、本校の強みと感じている。
―保護者はどんなことを学校へ期待していますか？
部活動や勉強をがんばって、というのはもちろんあるが、一番の期待は、進路の実現だ。進学でも就職でも、希望進路の実現が一番。中里高校は、これに向けていろいろな指導をするのが最優先課題だ。
―地域に出て行く活動の意味・意義は？
主な目的は、生徒に自主性、社会性、協調性、コミュニケーション能力を養ってもらうため。学校の教員とは違う視点の人たちと接することで、それらが養われると思っている。この学校に赴任した直後から、「とに

かく外に出してほしい」と教職員には言ってきた。地域に出せば、子どもたちも成長するし、元気になる。いろいろな地域行事に参加することで、地域全体で子どもたちを育てる視点というのが生まれてくるのではないか。
―それに対する地域の評判は？
地域の人たちの話に、中里高校の話題が上ってきて、関心が高まってきていると思う。「中高もがんばっているな」という感じだね。こういったことを、これからもアピール・情報発信しなければならぬと思う。地元の学校ですからね。
―地域の皆さんに一言
中里高校は、これからも地元の子どものための高校として、地域とともに成長していきたい。現在、中学生の皆さんには、地元にいる高校があるということ

Ending Sentence
これからも、この先も。

中里高校の募集定員は、昨年度70人。全校で6クラスを維持しているが、それでも今年の入学者数は43人と定員に満たない。開校当初の入学者は143人を数えたが、少子化の影響で入学者数は減少している。

しかし宮本校長は、この高校の必要性をこのように話した。
「高校全入ともいわれる中、学力だけでなく社会を生きる力が重要な時代になってきた。だからこそ、中里高校は地域との結びつきを強め、地域活動に参加しながら、地元と一緒に成長してきた。私は、それぞれの地域に個性があるのだから、地元の生徒は地元で育てるのが一番だと思っている。中里高校は、この地域の子どもたちを育てる、大切な学校だ」

学校は、地域にとって、そこに住む人々にとっての道しるべ。これからも地元と一緒に歩んでいく――。そんな思いを聞いた気がした。



生徒会との座談会

活発な活動と元気が持ち味の生徒会活動



左から、青山穂奈美さん(3年・書記)、川口敏彦教頭、木村悠乃さん(3年・副会長)、間山夢子さん(2年・会計)、下山菜奈勢さん(3年・生徒会長)、工藤本気さん(2年・会計)、野上彩芽さん(2年・副会長)、山田優平さん(2年・書記)・秋田谷李さん(3年・監査局長)

中里高校の生徒会は、さまざまな活動に登場する動く集団だ。対面式、あいさつ運動、文化祭、スポレク大会、運動会など、実にたくさん行事に彼らは関わっている。そんな彼らは、生徒会に望んで入った生徒が多い。

―どうして中里高校を志望した？
木村 地元の高校だから。近いから。ほかの高校だと、地元でのボランティア活動がしにくくなる。中里高校は、ボランティア活動が活発だから。
―実際に入ってみてどうだった？
青山 人数が少ない分過ごしやすい。そのせいか、まとまりがある。

先生方も1人1人に尽くしてくるので、何でも話せる雰囲気。
―生徒会の主な役割は？
下山 行事があるとき、ほかの生徒たちをリードするのが大きな役割。その中でもあいさつ運動は、自分から進んであいさつし、学校を明るくしようと企画したもので、生徒会・校紀委員・PTA・先生方が一緒になって、朝の登校時に玄関であいさつの声がけを行った。やはり、人から声をかけられると自然に反応が返ってくることも多く、効果はあったと思う。
―生徒会活動のおもしろい点、苦勞する点は？
間山 生徒会のみんなで話し合っているときは、すごく楽しい。ただ、会計担当なので、生徒総会での決算報告が私にはつらい。あがり症なので、震えてしまう。

―君たちにとって中里高校とは？
野上 全部楽しい。いい先輩を持ったおかげで。
―生徒会に入って自分は成長したと思うかな？
工藤 積極的に、何でも前向きに行動することを学んだ。自分の生活・学業両面で役立っている。
下山 私は会長をやって、物事に対する考え方が変化した。生徒会活動はほかの生徒たちのために動き、雑用などもやらされて面倒なこと多いが、それを面倒と考えるか、楽しいと考えるかで仕事の効率が変わる。仕事の中に楽しさを見つけることが大事だと分かった。

―中里高校はさまざまな地域活動へ参加しているが？
秋田谷 外に出て行って、町の人と話ができるようにならないと仕事はできない。地域活動への参加は、コミュニケーション能力の向上に一役買っていると思う。
―高校での目標、今後の目標は？
野上 次期生徒会長！ 3年生みたいに、3年生が築いた学校を引き継ぎ、もっといい学校にしたい。
山田 卒業までに、誰にでもバリバリ大きな声であいさつできるようになりたい。
―君たちにとって中里高校とは？



山田 地元で、明るく楽しく、気軽になじめる学校。
間山 家みたいに気楽に過ごせる。第2の家。
秋田谷 暖かい場所であり、その中でもつらさを教えてもらい、自分の人間性を高めてくれる場所。
青山 自分を育ててくれた場所。以上！
木村 中学校と違って、学習への意識レベルを高くしてくれた。
―最後に会長から一言！
下山 中里高校は地元の小さい学校だけど、他の学校に負けないぐらいの誇りを持っています！

なかどまり町民祭

Photo Gallery

■中里会場 10月28日～30日

■小泊会場 10月22日～23日



◀小泊といえばマグロ。今年も豪快にさばきました。
【マグロ解体ショー(小泊)】

米粉シチューを試食。新感覚の▶
味に来場者が舌鼓。
【農産物大試食会(中里)】



見事なお手前を披露。▶
町長も一服いただきました。
【お茶会(中里)】



◀時代劇スペシャル
や、今話題の韓流、
AKB48メドレー
で観客を魅了。
【中里中吹奏楽部
演奏(中里)】



【小学校学習発表会での合唱ー中里】



【職場・グループ対抗カラオケ大会
ゲスト金澤未咲さんー中里】



◀保育所ちびっ子たちの演技には▶
いつも人だかり。
【保育所おゆうぎ(中里・小泊)】

フリマ会場の小
学生売り子をパ
チリ。
【フリーマーケ
ット(中里)】

次は当たって!!
お願い!!
【ビンゴ大会(小
泊)】



【芸能発表ー中里】



【芸能発表ー小泊】



【2歳の子もよさこいー小泊】

夫婦そろって米寿を達成 88歳夫婦に県から顕彰

そろって米寿(88歳)を迎えた夫婦が、このほど青森県から顕彰され、10月6日(木)に町長が各家庭に伝達しました。県のシニアフェスティバル開催に当たって、今年度顕彰を受けた組は4組。1人ではなくお互い助け合って2人で顕彰を受けることに、受賞者は感慨ひとしおでした。



磯野與三郎・サ夕夫妻



廣海 一・タニ夫妻



宮越重一郎・クニ夫妻



和田藤八・きよ夫妻



人権擁護の功績認められる 中村さんが法務大臣表彰

人権擁護委員を務める中村盛江さんが、長年の人権擁護活動に対する功労を認められ、法務大臣から表彰を受けました。10月13日(木)には町長室で伝達が行われ、法務局の菅野五所川原支局長から中村さんに表彰状が手渡されました。中村さんは、役場を退職後すぐに人権擁護委員となり、人権思想の啓発や相談活動などを、これまで15年にわたって行いました。中村さんは「退職後、塚本町長がすぐ推薦してくれて感謝している。今回の表彰は大変うれしい」と感想を語っていました。

“ライオンズの森”親しみやすく 中泊ライオンズクラブが草刈り奉仕

ライオンズクラブが10月8日(出)、滝ノ沢ふるさと砂防愛ランドにある「ライオンズの森」周辺の草刈りを行いました。10月8日は「ライオンズ奉仕デー」という全国統一の奉仕を行う日で、中泊ライオンズクラブの10人が、朝7時から草刈り機をもって集結。森の草をていねいに刈り払いました。今年春から着手したという「ライオンズの森」は、町民に親しんでもらおうと整備したもので、朝もやがかかると、エンジン音を響かせていました。



高年齢者の就業機会確保を行っているシルバー人材センターが10月19日(水)、町内の清掃奉仕活動に汗を流しました。

交通安全と奉仕活動でパレード

町内で「シルバーの日」清掃奉仕活動

この日は、「シルバーの日」と定められた全県的な活動の日で、会員が朝から中央公民館へ集結。中里幼稚園鼓笛隊の子どもたちと一緒に津軽中里駅までパレードし、交通安全やシルバー事業のPRを行いました。パレード後、会員たちは7班に分かれ、駅や通り、福祉センター周辺のゴミ拾いや、カーブミラーの清掃など、地域への奉仕活動を行いました。再び中央公民館に集まった会員たちは、そこで青森県消費生活センター相談員の武井氏と寸劇グループによる、悪質商法への対処法を学ぶ講座を聞き、高齢者を狙う商法はどのようなものなのか、被害を受けないためにはどうすればいいのかを学んでいました。

小泊地域に新 ALT 赴任

ジェームス・ヘイスさん(米国)

小泊地域のALT(外国語指導助手)として、9月29日(木)アメリカ合衆国からジェームス・ヘイス(James Hayes)さんがやってきました。

ジェームスさんはミシガン州出身の27歳で、2005年にホームステイで日本を訪れたことがあり、今回は2回目の来日となるそうです。そんなジェームスさんの日本や町の第一印象は「美しい。人がフレンドリー。自分が過ごしていたミシガンと景色が違うのでおもしろい」といいます。

日本では、写真撮影や、家族との旅行などを楽しんでいるというジェームスさん。町民に向けて「初めまして。一緒にお互いの歴史や文化など、いろんなことを学び合いましょう」とメッセージをくれました。



広告

書道教室生徒募集

～和の心を楽しく学ぼう～

■先生 鎌田草丘 ■日時 毎週土曜日
(青森県書道連盟師範) 午前8時～午後8時
■場所 中泊町大字中里字亀山204-3 ■対象 幼稚園児から高校生まで随時募集
津軽中里駅より徒歩3分 一歳児指導も行っています

くわしくはコチラまで → ☎57-2324

広告

キチンとした写真も、カジュアルな写真もモトヤマ写真館におまかせ下さい！
うれしく！楽しい！
7しち 5ご 3さん
スタンダードな台紙入り6切サイズ (23×17cm)
1カット ¥10,500 (税込)
残せる！飾れる！プレゼント出来る！
お得なセット ¥30,000 (税込) ～
その他、店内には多数見本をご用意しております。
「笑顔」や「その人らしさ」など
プロならではの撮影と高度なライティング技術にこだわっています！
2011 東北六県写真師コンテスト最優秀賞の部金賞、橋本写真の部入賞しました！
モトヤマ写真館

撮影用衣装は
もちろん
無料ですよ！

〒038-3145 つがる市木造千代町7
TEL/FAX.0173-42-2651
http://motoshima-studio.com

ジュニアオリンピック出場報告

加藤登夢くん(中里中2年)

ジュニアオリンピック陸上競技大会県予選会のB男子100mで優勝し、全国への切符を手にした加藤登夢くん(中里中2年)が、陸上部の佐藤先生とともに役場を訪れ、町長に出場を報告しました。加藤くんは8月27日に行われた同予選会で、大会新記録となる11秒53をマーク。ライバルを破っての逆転優勝だったそうです。加藤くんは、10月28日から横浜で行われる全国大会で、100m個人と県のリレー代表として走ります。加藤くんはその感想を「予選ではライバルに負けたが、決勝で自己新が出て勝てた。うれしい」と述べ、全国に向けては「個人では1本でも多く走り、リレーは日本一を目指す」と力強く語りました。



巨大さつまいもにびっくり

中里小1年生がさつまいも掘り体験



ピュア横の体験農園で9月26日(月)、中里小の1年生児童37人がさつまいも掘りを体験しました。この日掘り出したさつまいもは、春先に自分たちが植えたもので、中泊町グリーン・ツーリズムの会「かけはし」の皆さんと、一緒に掘り起こしました。今年のさつまいもは、形がだいぶ大きいようで、子どもたちにとっては大変な作業でしたが、学校支援協議会のボランティアもお手伝いし、無事掘り終わりました。大きさにびっくりしていた子どもたちは「重たいけど、楽しかった」と楽しんだ様子でした。

ソフトテニス大会で優勝・準優勝

中泊ジュニアソフトテニスクラブ

平川市で9月24日(土)に開催された、第8回会長杯市町村対抗小学生ソフトテニス選手権大会で、中泊ジュニアソフトテニスクラブの子どもたちが、またも優勝・準優勝の快挙を成し遂げました。

今年は、6年生女子が不在のなか、見事なチームワークで、2連覇をもぎ取り、男子も準優勝を獲得しました。

■女子…木村真琳(中里小5年)・中村唯(中里小5年)・珍田未来(中里小5年)・岩田菜月(中里小5年)・福士碧(中里小5年)・岩田優花(中里小5年)・野上莉来奈(薄市小3年)

■男子…小山内敦士(薄市小6年)・木村吏玖(中里小5年)・古川友都(中里小5年)・神拓帆(中里小5年)・木村颯太(中里小4年)・木村将也(中里小3年)



広告

土木建設工事 作業員募集

希望される方は、お気軽に最寄りのハローワークまたは右の連絡先へ！

業種	土木	型枠大工	鉄筋工	重機オペ (クローラークレーン・ラフテレーンクレーン)	左官
定額	11,000～16,000円	13,000～19,000円	13,000～18,000円	13,000～18,000円	11,000～15,000円
月額 (23日稼働の場合)	253,000～368,000円	299,000～437,000円	299,000～414,000円	299,000～414,000円	253,000～345,000円

安全と技術と伝統を大切にする！！

東栄建設株式会社

●青森募集事務所 〒037-0305 青森県北津軽郡中泊町大字中里字亀山500
所長 平間康元 TEL 0173-57-3215 携帯
FAX 0173-69-2417 090-3503-7301

絵画・書写の力作を表彰

MOA美術館中泊児童作品展

児童の絵画・書写を一堂に展示する「MOA美術館中泊児童作品展」が、10月15日(土)～16日(日)の2日間、中央公民館に展示され、多くの鑑賞客が訪れました。

16日(日)には、入賞者への表彰も行われ、以下の子どもたちが受賞しました。 ※ 絵は絵画の部、書は書写の部

■MOA美術館奨励賞 絵 鈴木美羽(小泊小2年)／書 山田華蓮(小泊小1年) ■株式会社東奥日報社賞 絵 佐藤柊羽(小泊小1年)／書 鎌田莉央(中里小6年) ■中泊町長賞 絵 伏見愛(中里小6年)／書 長利凌也(武田小6年) ■中泊町議会議長賞 絵 小山内元気(武田小4年)／書 石川采(武田小3年) ■中泊町教育長賞 絵 原子理央奈(薄市小2年)／書 山田晃雅(小泊小2年) ■中泊町連合PTA会長賞 絵 野上菜采(薄市小1年)／書 下山諒夏(薄市小4年) ■中泊町保護司会会長賞 絵 木村萌瑠(小泊小2年)／書 岩田優花(中里小5年) ■中泊町更生保護女性会会長賞 絵 鰐田桜之心(薄市小3年)／書 竹内花子(武田小6年) ■中里町自然農法研究会会長賞 絵 小寺七聖(小泊小1年)／書 秋元美月(薄市小6年) ■金賞 絵 三上晃羽(武田小1年)、山本一希(中里小6年)／書 三上雄大(中里小4年)、川島凌希(薄市小5年) ■銀賞 絵 川浪稜生(薄市小2年)、鈴木玲緒(中里小6年)／書 久保田希空(小泊小1年)、久保田美空(小泊小2年) ■銅賞 絵 小寺駿平(薄市小3年)、菊地柊佑(中里小6年)／書 山下緋杏(武田小2年)、佐々木向日葵(小泊小4年) ■佳作 絵 山田晃雅(小泊小2年)、佐藤麗心(武田小2年)、松田樹莉奈(中里小6年)／書 田中寧音(中里小3年)、木村颯太(中里小4年)、鍋田夕海美(小泊小5年)

海風受けてナイスショット

町民グラウンドゴルフ大会

道の駅こどまりの特設コースで9月25日(日)、町民グラウンドゴルフ大会が行われました。晴れのさわやかに恵まれた大会には、町民28人が参加。次の人たちが入賞しました。

■男子…1位 鈴木喜代三郎(41打)／2位 野上祐一(45打)／3位 珍田永藏(47打)

■女子…1位 米塚キシ(46打)／2位 小寺イツ(49打)／3位 秋元あきえ(49打)

■ホールインワン賞…野上祐一、米塚キシ、鈴木喜代三郎、古川慎造、秋元あきえ、熊谷明彦、田中秋江

広告

津軽地域で9回目
の開催です。

出張無料相談会開催！

債務整理 過払い金請求 自己破産 個人再生

借金問題解決のお手伝いを致します！

●過払い金の請求
(返済中はもちろん、完済から10年以内であれば取り戻せます。)

●月々の返済を楽にしたい。

●とにかく返済に困っている。
…など



あらゆる相談にお答えいたします。
無料の相談会ですのでお気軽にご相談ください。

●交渉方針：借金減額、金利減免、元金のみ60回払い
●弁護士費用：毎月の支払いをストップした後から分割払い可
●ご依頼者のプライバシー厳守
弁護士 中島賢悟 東京弁護士会所属登録番号34985号

11/25(金)

★弘前総合学習センター
9:00～21:00
★五所川原市立佐武多の館
9:00～17:00 (17:00以降も随時対応)

11/26(土)

★弘前総合学習センター
9:00～21:00
★黒石市産業会館
9:00～21:00

11/27(日)

★弘前総合学習センター
9:00～21:00
★五所川原市立佐武多の館
9:00～17:00 (17:00以降も随時対応)

当日は予約制ですので
必ずお電話下さい。

(受付時間 平日・土日祝日 10:00～21:00)
☎0120-113-314

*上記以外にも随時出張しております、個別の相談も承りますので、まずはお電話下さい。

出張期間中は携帯電話へ。TEL080-4123-1996

セキアトラスト法律事務所

東京都渋谷区渋谷1-8-3 TOC第一ビル6F

TEL.03-5774-1521(代表)

Mobile http://saimu0.net(24時間受付)



中泊町役場 ☎57-2111
小泊支所 ☎64-2111

町からのお知らせ

問 問合せ先 内 内線番号
☎ 電話番号 HP ホームページ

特設合同相談所開設のお知らせ

問 社会福祉協議会 中里本所 ☎57-4841
小泊支所 ☎64-2905

日常生活の不安や心配ごと、トラブル、暴力、争いなどで困りの人は、お気軽においでください。相談内容の秘密は厳守いたします。

〈一般相談〉

■日 時…12月2日(金) 午前9時～午後2時

■場 所…中里会場…中央公民館
小泊会場…日本海漁火センター

■相談員…青森行政評価事務所、心配ごと相談員、人権擁護委員、行政相談委員

■相談料…無料

〈法律相談〉

■日 時…12月2日(金) 午前9時～正午

■場 所…中央公民館
■相談員…弁護士 田坂源治 氏

■定 員…6人までの予約制です。事前に電話で予約してください(定員になり次第締め切ります)

■相談料…無料

料理教室参加者募集！

問 中央公民館 ☎57-2341

親子での参加大歓迎です。参加を希望される人は、電話などでお申込みください。

【そば打ち体験教室】

■日 時…11月26日(土) 1回目 午前9時～
2回目 午前11時～

■場 所…中央公民館実習室・大ホール

■対象者…小学校高学年～大人

■募集人員…20人

■申込期限…11月18日(金)

※ただし募集人員に達した時点でべ切となります。

■参加料…材料代として1,000円(当日徴収します)

※1組でそば約500g(5食分)となります。その場で食べられますが、お持ち帰りになる場合は、タッパーなどをご準備ください。

【お菓子作り教室】

■日 時…12月3日(土) 午前9時～

■場 所…中央公民館実習室

■対象者…小学校高学年～大人

■募集人員…10人

■内 容…スイートポテト、蒸しパンなどのおやつ作り

■申込期限…11月25日(金)

※ただし募集人員に達した時点でべ切となります。

■参加料…材料代400円程度(当日徴収します)

先月号でもお知らせしましたが、10月から「子ども手当」が変わりました。これまで子ども手当を受け取っていた人も含め、**中学生までのお子さんを持つ人は申請が必要です。**申請が必要と思われる人には、案内を送付しています。まだ申請していない場合は、平成23年11月30日までに申請してください。

■提出先
役場福祉課、小泊支所(公務員は勤務先へ申請)
(今年9月30日時点で受給していた人は、平成24年3月末までに申請すれば10月分からの手当を受け取ることができですが、事務の都合上11月30日までに申請をお願いします)
※ただし、次に該当する人は、速やかに申請してください。3月末ま

でに申請しても、さかのぼって受給できません。
・10月1日以降にお子さんが生まれた人(出生日の翌日から15日以内)
・10月1日以降に他の市町村へ転出または他市町村から転入した人(転出入予定日の翌日から15日以内)
※今年9月まで子ども手当を受け取っていた人でも、今回の法律改正で受給できない場合があります。ご不明な点、申請書が届いていないなどありましたら、福祉課福祉係へお問合せください。

広告

「(仮称)津軽十三湖風力発電事業 環境影響評価方法書」の縦覧について

町内の十三湖周辺において、くろしお風力発電株式会社が計画している「(仮称)津軽十三湖風力発電事業」に関して、環境影響評価を行うための調査手法等を記載した「環境影響評価方法書」が閲覧できます。

- 縦覧場所：中泊町役場、小泊支所、十三湖土地改良区
- 縦覧期間：平成23年11月1日(火)～平成23年11月30日(水)
- 意見書受付期間：平成23年11月1日(火)～平成23年12月14日(水)
- 縦覧時間：上記期間中の午前9時から午後5時まで(土・日・祝祭日を除きます)
- 問い合わせ先
くろしお風力発電株式会社 (電話) 090-6934-4047 (担当) 田口

子ども手当をもらうには申請が必要です

問 役場福祉課福祉係 内線127

ようやくの晴天に足取り軽く

武田小交通安全パレード

雨でたびたび延期された武田小恒例の交通安全パレードが、9月26日(月)に行われ、快晴の武田地区を練り歩きました。パレードに参加したのは、児童・先生・PTAや警察関係者など合わせて約130人。バトントワリングを先頭に、太鼓、ピアノカ演奏のほか、低学年とPTAは風船を持って交通安全の呼びかけを行いました。やっとのことで行われた子どもたちの華やかなパレードに、沿道の住民たちは声援を送っていました。



中里誠心塾が県大会で好成績

県少年柔道大会で

中里誠心塾の選手20人が、9月4日(日)岩木山総合運動公園で行われた県少年柔道大会に出場し、優勝や3位獲得など好成績を収めました。今回の優勝・3位獲得は、同塾所属の4人。このうち、野上莉来奈さんは3連覇、葛西大悟くんも2連覇、桑田亮太くんが初めて3位を獲得するなど、活躍が光ります。その桑田くんは、戦った感想を「全試合全力でぶつかった。初めての3位獲得はうれしかった」と語りました。
■女子3年 優勝 野上莉来奈(薄市小)／男子3年 35kg超級 優勝 葛西大悟(武田小)／男子3年 35kg以下級 3位 片山雄心(武田小)／男子5年 45kg以下級 3位 桑田亮太(喜良市小)

自然の美を写真表現で

フォトグループ葦の3人が写真展

町内に組織されている「フォトグループ葦」のメンバー3人が、9月23日(金)～25日(日)にかけて3人写真展を行いました。中里ショッピングセンター「ベル」で行われた写真展には、3人(三上敏常さん、友田宏さん、平間康元さん)の作品合わせて31点を展示。数年前から行っているという写真展には、町内外から約200人が鑑賞に訪れました。3人は、古木の造形や海、旅先の風景を題材にした写真を展示しており、訪れた鑑賞客と写真談義に花を咲かせていました。



海風を浴びながらウォーキング

さああさぐべしなかどまり

下前地区の徐福の里公園で10月10日(月)、「さああさぐべしなかどまり」ウォーキングを行いました。これは、町教育委員会が健康増進事業の一環として行っているもので、当日は子どもから一般まで約60人が集まりました。健康運動指導士の葛原仁美氏と入念な準備運動を行い、徐福の里公園を出発。海風のミネラルを体いっぱい浴びて、自分のペースで参加者同士おしゃべりしながら、ゆっくりと1時間弱のウォーキングを楽しみました。ウォーキング終了後も、クールダウンでしっかりと体のケアを行ったあとは、みんなで昼食を食べ解散となりました。



配管工認定講習

■日時：平成24年1月19日(木)
午前10時30分～

■会場：青森市、弘前市、八戸市の3会場から選択(今年度は五所川原会場がありません)

申込受付期間

11月17日(木)～12月6日(火)
申込書の配布11月17日(木)～
(土・日・祝日を除く午前8時15分～午後5時)

■受講料：7,000円(別途振込手数料)

■その他：受講資格、申込みに必要な書類など、くわしく

はお問合せください。

調停相談を開設

■日時：12月2日(金)午前10時～午後4時

■場所：弘前市立観光館1階「多目的ホール」

■内容：金銭関係(過払い金含む)・土地建物・公害・家庭の問題、交通事故などでお困りの人に対し、調停委員が相談に応じます。

■料金：無料

■申込：当日直接会場へ(申込不要)

青森県最低賃金改正のお知らせ

■日時：11月16日(土) 午前10時～午後5時

■会場：青森県最低賃金改正委員会(青森県労働基準部会)

■内容：青森県最低賃金は、青森県内で働く全ての労働者と、労働者を1人でも使用している使用者に適用されます。製造業と小売業の一部には、特定(産業別)最低賃金が定められています。

11月30日は

固定資産税 4期
国民健康保険税 5期

の納期限です。忘れずに納めましょう。※口座振替をされている人の引き落とし日は11月25日です。残高をご確認ください。

■日時：11月26日(土) 午後1時～

■場所：総合文化センター「パルナス」

■内容：読み聞かせや、ことば遊びなど楽しい催しを用意しています。ぜひ、親子一緒においでください。

図書館情報

☎69-1111

今月のMiniコレクション

○鍋の季節になりました。いつもと違う鍋に挑戦……11月は鍋物特集です。

新刊情報

『財務省の階段』 真田真音 角川書店
『笑い三年、泣き三月』 木内昇 文藝春秋
『白い鴉』 新堂冬樹 朝日新聞出版
『黄泉から来た女』 内田康夫 新潮社
『日本中枢の崩壊』 古賀茂明 講談社

本の寄贈

安部雪子さん 『日本の児童文学』他18冊
岩田登志代さん 『涙が出るほどいい話』他23冊
武田澄子さん 『日本の民話』他25冊
ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

奥つがる子どもブックフェア#7

〈図書館子ども教室スペシャル〉

つながう「こ・と・ば」
かがやけ!!「ことば」

■日時：11月26日(土) 午後1時～

■場所：総合文化センター「パルナス」
■内容：読み聞かせや、ことば遊びなど楽しい催しを用意しています。ぜひ、親子一緒においでください。

母子・寡婦家庭のみなさんへ 福祉資金を貸付します

■日時：11月26日(土) 午後1時～

■対象者：母子家庭・寡婦の人たちに対し、母子・寡婦福祉資金の貸付を行っています。

■対象資金：就学支度資金・修学資金・修業資金
■申込期限：平成24年1月20日(金)

心配ごと相談 中泊町社会福祉協議会

中里地域	小泊地域
11月24日 成田 寛、古川 壽	11月16日 竹谷 利男
12月14日 近村 敦、菊池 俊一	長内エツ子
相談場所 役場相談室 相談時間 午前9時～午後2時	相談場所 すくすくしたまえ館 相談時間 午前9時～午後2時

なんでも行政相談

日時：11月16日(木) 午前9時～12時
(毎月第3水曜日)
場所：中央公民館
行政相談委員：秋元 武弘、藪田 由比子
※行政相談は、住民から寄せられた苦情や意見・要望について、住民と関係行政機関との間に立って、公正・中立な立場から必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図ります。

119 消防&救急

秋の火災予防運動

統一標語
『消したはず
決めたはず
もう一度』

町民への火災予防の呼びかけとして、10月17日から23日まで、秋の火災予防運動が実施されました。

中里・小泊両地域では、17日に消防署・消防団・婦人防火クラブほか、各関係機関が参加し、火災予防パレードが行われました。

中学生が職場体験

9月27日、28日の2日間、小泊消防署で、小泊中の生徒3人による職場体験学習が行われました。

生徒たちは、救急出動訓練やタンク車による放水訓練などをを行い、消防の仕事の厳しさを体験し、将来の夢に向けて真面目に取り組んでいます。

生徒たちには、この職場体験で学んだことを生かし、夢を叶えてもらいたいものです。



火事・救急・救助は119番／五所川原消防署 ☎34-4999／中里消防署 ☎57-2370／小泊消防署 ☎64-2375

介護と福祉の 合同就職面接会開催

■日時：11月17日(木) 午後1時～4時(受付 午後12時30分～3時)

■会場：青森県武道館
■対象者：介護と福祉の仕事

地域のための救急医療 フォーラム in 五所川原

■日時：11月26日(土) 午後2時～4時

■場所：ふるさと交流圏民センター「オルテンシア」

■内容：①一次救命処置(AEDを用いた除細動)デモンストラーション
②青森県及び西北地域における救急医療の実情
③パネルディスカッション
テーマ「みんなでつくりあげる救急医療」

■申込締切：11月21日(月)

ふるさと納税のご案内

■日時：11月17日(木) 午後1時～4時(受付 午後12時30分～3時)

■会場：青森県武道館
■対象者：介護と福祉の仕事

静和園だより



小泊地区婦人会

会長 秋元英子
会員9人来園。乾燥ワカメを持参され、創作舞踊、カラオケ歌謡を1時間にわたり披露してくれました。

感 謝



この季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなりますので、火の元には十分注意してください。

中里(57)3920/小泊(64)3748



防煙・禁煙・分煙推進ポスター

未成年者の喫煙防止と、地域の禁煙・分煙の推進を目的に、町内の小学6年生が作成した『防煙・禁煙・分煙推進ポスター』を、なかもどり町民祭に展示しました。

最優秀賞1点、優秀賞3点、入選13点

〈優秀作品〉

◎最優秀賞

下山 誉人くん(薄市小)



◎優秀賞

鎌田 莉央 さん(中里小)



◎優秀賞

鈴木 玲緒 さん(中里小)



◎優秀賞

奈良 響くん(薄市小)



子どもたちは、たばこの害について学習しています!!

町内の小・中学校で、毎年「防煙教室(喫煙防止教室)」を実施しています。

子どもたちは、お医者さんからたばこに含まれている有害物質について、健康への悪影響を学んでいます。たばこは依存性があり、やめようと思っても、簡単にはやめられません。未成年の子どもたちには、

◆1本目のたばこに手を出さない勇気を!

◆周囲からたばこをすすめられても、断る勇気を!
◆たばこの煙があるところには近づかないこと!

これらが大事であることをメッセージとして伝えています。大人のみなさん、未来ある子どもたちの健康を守るため、地域で無煙環境の輪を広げていただきたいと思います。

生徒の感想

防煙教室の先生の話を聞く前までは、別にタバコを吸っても害はないと思っていましたが、先生の話を聞いて、タバコを吸うと自分だけに害があるんじゃないかと、周りの人にも害があるので、家の人でタバコを吸っている人があるので、タバコはだめだと教えてあげたいです。

(中里小児童)

防煙教室で、タバコのおそろしさがたくさん分かりました。タールとニコチンと一酸化炭素が悪いことが分かりました。タバコのために、のどにアナをあげる人もいました。タバコをすうとはいやのどがわるくなってしまう。私はすすめられて

もタバコはすいません。

(薄市小児童)

タバコの色々なことが分かりました。そんなにタバコは悪いものとは知りませんでした。でもタバコは体をきずつけてしまいう本当に悪いことが分かりました。家族にも教えます。自分も大人になっても吸いしません。

(小泊小児童)

タバコがいろいろな害があることや、一度吸ってしまったらなかなかやめられないことなど、いろいろなことが今日の話を聞いてよく分かりました。自分も大人になっても絶対に吸いたくないなと思いました。(中里中学生)



戸籍の窓口

(9月届出分)



成田 蒼 (男・猛) 今泉上
木村 颯 (男・憲和) 上高根
木村 琉愛 (女・瞬) 竹田
角田 龍羽 (男・満美) 下前上
塚田 虹宇 (男・裕) 温泉町



菊池 雅敏 (深郷田下)
萩谷 広恵 (京都府)
奥村 俊樹 (秋田県)
荒関 真貴子 (派立中)
小野 学 (下高根)
吉岡 祥子 (五所川原市)
富澤 充人 (群馬県)
石川 紗耶香 (下豊岡)
平野 大輔 (青森市)
小山内 裕美 (今泉上)
小寺 健 (薄市下)
鈴木 あゆみ (福島県)
三橋 悠介 (五所川原市)
荒関 沙知 (花丘町)

青森県では、「空気クリーン施設」認証制度を実施しています

青森県では、県民の健康づくりを支える環境づくりとして、受動喫煙防止対策を実施している施設に対し、認証制度を行っています。これは、受動喫煙防止対策として「屋内(室内)・車内完全禁煙」を実施している施設に、「空気クリーン施設」のステッカーを交付するとともに、掲載希望を確認して、保健所や県庁のホームページに施設名を掲載します。(飲食店の場合は「空気もメジャー店」、禁煙タクシーなどは「空気クリーン車」の名称で認証します)

くわしい内容や申請方法は、保健センターか保健所にお問合せください。

登録の条件

(次の状況を満たしている場合に申請ができます)

- ①屋内(室内)完全禁煙が表示されている
- ②灰皿が置かれていない
- ③タクシーの場合は社内禁煙になっているもの

町では、公共施設・学校で「空気クリーン施設」認証を勧めています。

人のうごき

9月末現在(前月比)

人口	13,175人(-6)
男	6,243人(+1)
女	6,932人(-7)
世帯数	5,168戸(+5)
出生	5 / 死亡 11
転入	24 / 転出 24

磯野 裕也 (下前中)
飯倉 麗子 (大分県)
工藤 広行 (小泊派立)
長谷川 久子 (入舟)



工藤 勘之丞 93 (富野)
佐藤 繁男 77 (下高根)
櫻井 マツエ 90 (今泉上)
木元 カネ子 65 (田茂木)
近村 チョセ 92 (尾別)
下山 トキ 92 (薄市上)
古川 マツエ 77 (五林)
塚本 盛之 55 (福浦)
小林 ツキ 90 (新町1)
横野 律子 70 (若葉町)
今紀 美 57 (下前上)

中泊町の行事カレンダー

11 月				12 月			
16	水	9:00~12:00 9:00~14:00	なんでも行政相談(中央公民館) 心配ごと相談(すくすくしたまえ館)	1	木		
17	木	13:30~	心の講演会(中里保健センター)	2	金	9:00~14:00 9:00~12:00	特設合同相談所 一般相談 (中央公民館、漁火センター) 特設合同相談所 法律相談(中央公民館)
18	金	10:00~ 10:00~	西北五地区老人クラブ芸能発表会(パルナス) 高齢者教室(中央公民館) 機能訓練教室(中里保健センター)	3	土	9:00~	お菓子作り教室(中央公民館)
19	土			4	日		
20	日		新岡精弥杯争奪剣道大会(体育センター)	5	月	10:00~	運動教室(中央公民館)
21	月	10:00~	運動教室(中央公民館)	6	火		
22	火			7	水		
23	水			8	木		
24	木	9:00~14:00 13:00~	心配ごと相談(役場相談室) 乳児健診(中里保健センター)	9	金		
25	金	11:00~	善行・功労者表彰式(パルナス)	10	土		
26	土	9:00~ 11:00~ 13:00~	そば打ち体験教室(中央公民館) 奥つがる子どもブックフェア#7(パルナス)	11	日		
27	日			12	月		
28	月			13	火	9:30~ 13:30~	地区懇談会(内湯公民館) 地区懇談会(武田公民館)
29	火			14	水	9:00~14:00 14:30~	心配ごと相談(役場相談室) 運動教室(中央公民館)
30	水	9:00~13:00 10:00~12:00	ふれあい楽習室・お正月料理を学ぼう (すくすくしたまえ館) こころの相談日(中里保健センター)	15	木	9:30~ 12:15~ 13:30~	地区懇談会(すくすくしたまえ館) 1歳6か月児健診(中里保健センター) 地区懇談会(すくすくこども館)

壮大な景色歩きながら楽しむ

竜泊ライン
ウォーキング

竜泊ラインの美しい風景を、歩きながら楽しむイベント「竜泊ラインウォーキング」が、10月2日(日)に行われ、町内外から28人が参加しました。イベント当日は雨と風が強く、あまりいい天候ではありませんでしたが、参加者は鳥瞰台から道の駅こどもりまでの道のり約12kmを歩きながら、時折広がる晴れ間の景色を楽しんでいました。今年初めて参加し、七つ滝からの4kmを歩いた中里小児童は「寒かったけど、途中北海道が見えてよかった。来年は、みんなと一緒に鳥瞰台から歩きたい」と、初めてのウォーキングを楽しんだようです。



工事の安全 関係者が祈る

新しいごみ処分場
祈願祭が行われる



町の新しいごみ処分場建設工事の安全祈願祭が10月7日(金)に執り行われ、関係者41人が出席しました。

祈願祭では、町長や施工業者が鍬入れを行い、その後関係者が玉串を奉てん。町長は「各位の協力での日を迎えることができた。無事完成させてほしい」とあいさつし、工事の安全を祈願しました。

新処分場は、約15年分の一般廃棄物を収容可能なもので、現処分場の手前あたりに建設され、平成25年4月からの供用開始を目指します。



地区懇談会開催のお知らせ

【問】役場総務課広報係 【内】162

町では、次の日程で地区懇談会を開催します。町長と関係者が出席し、町民の皆さまからご意見やご要望などの声を聴きたいと考えておりますので、どうぞご参加ください。

〈日時・場所〉

月 日	場 所	時 間
12月13日(火)	内湯公民館	9:30 ~ 11:30
	武田公民館	13:30 ~ 15:30
12月15日(木)	すくすくしたまえ館	9:30 ~ 11:30
	すくすくこどもり館	13:30 ~ 15:30
12月16日(金)	中央公民館	9:30 ~ 11:30

※ 当日は、各課が事業説明を行った後、皆さまと意見交換する予定です。

